

○ 預金保険機構の各勘定の政府保証及び借入金等の状況

(単位:億円)

勘定	平成31年3月末				令和2年3月末				令和2年9月末			
	政府保証枠 (借入金等限度額)	政府保証 使用額	借入金等 残高		政府保証枠 (借入金等限度額)	政府保証 使用額	借入金等 残高		政府保証枠 (借入金等限度額)	政府保証 使用額	借入金等 残高	
一般勘定	190,000 (190,000)	—	—		190,000 (190,000)	—	—		190,000 (190,000)	—	—	
金融再生勘定	30,000 (30,000)	5,670	15,670		30,000 (30,000)	4,355	15,355		30,000 (30,000)	2,000	15,355	
金融機能早期 健全化勘定	—	—	—		—	—	—		—	—	—	
危機対応勘定	350,000 (350,000)	—	—		350,000 (350,000)	—	—		350,000 (350,000)	—	—	
金融機能 強化勘定	120,000 (120,000)	3,240	4,240		120,000 (120,000)	2,277	4,277		150,000 (150,000)	2,160	4,252	
合 計	690,000 (690,000)	8,910	19,910		690,000 (690,000)	6,632	19,632		720,000 (720,000)	4,160	19,607	

- (注) 1. 政府保証枠は各年度の予算総則計上額。借入金等限度額は法令に定められた額。
2. 預金保険機構に交付された国債13兆円については、平成14年度末(特例業務勘定廃止日)までに10兆4,326億円(うち、金銭贈与:9兆8,793億円、累積欠損金の補填:5,533億円)を償還(使用)し、残額2兆5,674億円は同年度末に政府に返還。
3. 特例業務勘定は平成14年度末において廃止され、同勘定に属する資産及び負債は一般勘定に帰属している。
4. 金融機関等経営基盤強化勘定は平成16年度末において廃止され、同勘定に属する資産及び負債は金融機能強化勘定に帰属している。